

共に学び 共に進む



竹台通信

都立竹台高等学校 ☎03-3891-1515



R7.
2月号

合格体験記（3 学年）

R・Iさん 東京電機大学 工学部 情報通信工学科

①大学（学部・学科）を目指したきっかけ

中学校では技術が好きで、高校生になってからは情報の科目も好きになりました。パソコンが好きで、プログラミングにも興味がありましたが、仕事にするには不安があり、選択肢から外していました。しかし、高校で進学教育を受ける中で、大学という自由な環境では一番大切なのは学習意欲の継続だと考えるようになりました。そこで、好きなことを大学で学ぶことが学習意欲の継続にも繋がり、仕事に必要な技術を効率的に身につけられると考えるようになり、不安がなくなりました。

そして、東京電機大学では私が学びたいことが多く合致していました。この大学を選んだ大きなきっかけは、研究室でした。オープンキャンパスを通じて、東京電機大学のある研究室に強く惹かれ、入学したいと考えるようになったため、この大学を選びました。

②合格に向けて努力したこと

私は高校受験に失敗したという経験があります。そのため、どのような受験方式でも挑戦し、合格できるように努力しました。まずは、高校の授業をしっかり受け、自学自習や復習を行い、テストではできるだけ高得点を取り、好成績を維持できるようにしました。これにより、推薦入試に備えました。そして、学校の勉強とは別に、共通テスト対策などにも取り組みました。これらは、1年生のうちから取り組むことが大切だと考えています。もちろん、1度きりの高校生活を楽しむことも大切ですが、楽しむことと必死に勉強することは両立できると信じています。メリハリをつけて、合格に向けて毎日努力することが大切だと考えます。

共通テストリサーチの様子



M・Kさん 日本大学 理工部 海洋建築工学科

①大学（学部・学科）を目指したきっかけ

私は小学6年生の頃から建築業界に興味がありました。中学生の頃に一度諦めましたが、高校一年生の進路ガイダンスで再び建築関係に進みたいと考えるようになりました。そのため、建築学科のある大学や建築の専門学校を主に探しました。複数の大学や専門学校のオープンキャンパスに参加し、その中でも自分のやりたいことと大学で学べることが一致しており、陸だけでなく海のことを学べ、実験施設や研究室が充実している海洋建築工学科を目指すことに決めました。

②合格に向けて努力したこと

評定平均を高く保つことや、欠席や遅刻をなるべくしないことです。評定平均を高く保つために塾に通い、得意な科目は常に5を維持し、苦手な科目でも4をもらえるように勉強しました。また、自己PRできるように自分の強みを理解し、分からないことや不安なことは先生に相談しました。昨年の時点では志望する大学の指定校推薦がなかったため、一般受験の勉強を2年生の3月頃から始めていましたが、一般受験での大学合格は困難だったと思います。合格した今でも自分の実力が劣っていると感じています。そのため、勉学に励むことは日々大切だと考えています。